

# 嵐山町

## 菅谷中学校 菅谷小学校

### 目指す児童生徒像

絆のもと、挨拶と笑顔あふれる元気な学校  
～自ら考え判断し正しい行動のできる児童生徒～

### 重点目標

- ① 「埼玉県学習状況調査」の「小学校算数・中学校数学」の正答率を県平均以上にする。  
また、「教育に関する3つの達成目標」の「計算」の全年達成率を県平均以上にする。
- ② 「規律ある態度」の〇けじめのある生活ができるの『2 身の回りの整理整頓をする』、〇礼儀正しく人と接することができるの『3 進んであいさつや返事をする』『4 ていねいな言葉づかいを身につける』の達成率を90%以上にする。

- ③ 「新体力テスト」の県平均を上回る項目の割合を60%以上にする。

### 平成25年度 事業計画

	重点目標との関連	主な取組	主な工夫・手立て
必須メニュー	「埼玉県小・中学校学習状況調査」結果や「教育に関する3つの達成目標」の検証結果の分析・活用	①	・小5、中1、中3の解答状況を分析し、「繰り返して行う学習」と「定着確認の具体的方法」について検討する。
	9年間を見通したカリキュラムの編成	①	【編成する教科等】 ・算数・数学 ・「埼玉県小・中学校学習状況調査」の嵐山町の状況を分析、町として劣っている課題を明らかにして編成したカリキュラムを実践する。
	児童生徒の交流（合同行事、合同授業等）	②	・体育祭と運動会での小中学生交流 ・小・中合同資源回収(年3回) ・小・中合同除草作業 ・小・中合同避難訓練 ・小学校音楽朝会での中学生模範合唱披露
	教職員の交流（合同研修、乗り入れ授業等）	①②③	・菅谷小・中合同生徒指導委員会 ・研修(9年間カリキュラムの編成) ・菅谷小・中合同発達障害研修(2回) ・研修(児童生徒理解) ・交流授業(音楽、図画工作) ・合同体育授業(小5・6年と中1年) ・個人や学級の変容の把握と「教育に関する3つの達成目標」の「規律ある態度」の分析結果の活用を図る。
	小学校高学年の一部教科担任制	①	【期待できる効果】 ・専科教員が教材研究に時間をかけることができる上、担任と協力して、よりきめ細やかな指導が可能になる。また、多角的に児童を評価することができる。
選択メニュー	小・中学校教員のティームティーチング	①	・小6外国語活動 週3時間 小6算数 週3時間 菅谷中→菅谷小 ・中1理科 週3時間 菅谷小→菅谷中 ・接続期における指導の滑らかな接続と児童が抱く不安の解消を図る。
	独自教材の開発	①②③	・外国語活動の授業において小・中教員が合同で授業に使用する教材を開発する。
	個別の教育支援計画	②	・個別の教育支援計画プランA／Bに加え、日々の児童との関わりの様子を週単位で記録し、小・中教員の情報共有と連帯感の強化を図る。 ・経験、体験から得た「行動につながる刺激／刺激と反応／行動を抑制する支援」を中学校に提供し、共通理解を図る。
	PTA等交流・共同活動	①②	・小・中合同行事(資源回収、除草作業、避難訓練、合同七夕行事)や体育・家庭科の授業において、小・中教員と合同学校応援団・PTAと合同で実施する。

## 『地域との連携を深める小・中合同避難訓練』

### 1 視点・キーワード

- (1) 9年間の成長を見守り育む学校・家庭・地域
- (2) PTAをはじめとした学校を支える組織が児童生徒の行事を通して交流と共同活動を行う事による組織力の向上

### 2 概要（組織との関連、手順等）

#### (1) 組織との関連

菅谷中学校区小中一貫教育推進委員会を構成する部会の中の「交流部会」並びに菅谷小・中学校両校の安全部が中心となって、PTA及び学校応援団や地域の見守り隊等、関係機関と連携して小・中合同避難訓練に取り組む。



小・中合同避難訓練

#### (2) 手順等

- ア 年間行事計画の立案に際し、菅谷小・中学校両校で日程を調整し、小・中合同避難訓練を組み入れる。
- イ 小・中学校の担当者で打合せの時間を設け、実施方法の詳細を決定していく。
- ウ 実施当日は小・中学校それぞれで避難訓練を実施した後、中学生が小学校のグラウンドへ移動し、同じ地区の小学生を引率して帰宅する形態で訓練を行う。
- エ 実施後、関係機関からの評価を生かし、次年度以降の計画を検討する。



小・中合同資源回収

### 3 評価

- (1) 学校応援団や各地区の見守り隊と連携することで、直接地域の方が児童生徒と触れ合う場となり、学校の取組への理解と協力が高まった。
- (2) 小・中学校の教員が同じ地区を共同で担当することで、地域や学校支援組織との交流が進み、情報の共有化が図れてきている。



小・中教員によるチームティーチングの打合せ

### 4 主な課題と留意点

- (1) 訓練内容の精査と共に、全ての教職員が関わるための役割分担と負担の均等化を図る。
- (2) 家庭状況の把握と情報の共有化を進めるために、合同研修会の中に情報交換の場を設定し、計画立案に生かせるようにする。



算数授業の充実